

シルバーかわさき

<http://www.sjc.ne.jp/kawasaki/>

平成22年4月15日

第38号

財団法人
川崎市シルバー人材センター
川崎市川崎区堤根34-19
TEL 044-222-6886
FAX 044-221-8516

安全標語「忙がずに 年齢に合せた ゆとりもち」若宮勝代 中部会員

平成21年度第2回 理事会と評議員会を開催

3月23日(火)、平成21年度第2回理事会・評議員会が開催されました。提案議案は、①「平成21年度補正予算案」②「会員登録手数料の徴収について」③「第2次中期計画について」④「平成22年度事業計画案及び予算案」⑤「短期借入金契約について」⑥「公益法人移行に係わる最初の評議員選任方法並びに最初の評議員選定委員会設置規則の制定について」が審議され、全会一致で承認・可決されました。



理事会

評議員会



平成22年度事業計画

重点事業

一 自主・自立・共働・共助の理念の浸透について

「自主・自立・共働・共助」を基本理念とし、これまで様々な就業を通して培ってきた経験・知識・能力を有する高齢者に、地域社会に密着した多様な就業機会を提供することにより、高齢者の社会促進を促し、生きがいや健康づくりを支援すると共に、地域社会の発展に貢献することを目指します。

二 会員の増強と育成

- ・会員の増強(女性会員を入会促進するための入会活動など)
- ・各種研修・講習会の開催(家事援助・子育て支援講習会など)
- ・動向調査の実施(動向調査を行い効果的な就業調整を行う)
- ・地域班・職群班活動(地域班の設置、職群班の充実)

三 就業機会の拡大・受注の開拓

- ・家事援助・介護支援・子育て支援事業の推進(南・中・北の各事務所へコーディネーターを配置)
- ・就業機会創出活動(就業機会創出員による企業訪問など)
- ・就業機会の公平性の確保(就業交代制度の推進)

・普及啓発活動(役職員、会員「地域班」による受注活動の推進など)

四 安全・適正就業の徹底

- ・安全・適正就業委員会等による活動(事故原因と防止策への取り組みなど)
- ・安全講習会の実施(交通安全講習会の実施など)
- ・安全就業に向けた取り組み(会報に「私の健康法」の掲載など)

五 事業推進体制の強化

- ・財政基盤の強化(「会員登録手数料」制度の導入など)
- ・新公益法人制度の移行準備(平成23年度の移行を目指します)
- ・会員組織の強化(会員自主活動への支援など)

六 高齢者の就労支援

- ・無料紹介事業の推進
- ・一般労働者派遣事業の推進
- ・シニアワークプログラム事業の実施
- ・シニア就業支援プログラム事業の実施

平成22年度収支予算

平成22年度収支予算は、次の基本方針に沿って編成いたしました。

歳入の受託事業収入は、昨今の厳しい社会経済状況等の雇用環境を考慮し、平成21年度事業実績の推移から、前年度当初予算と同額としました。

また、歳出は、過去の執行状況を精査

平成22年度 収支予算書

(単位：千円)

収入の部	科	目	予算額	前年度予算額	増減
受託事業収入			1,042,200	1,042,200	0
独自事業収入			2,160	2,160	0
会員登録手数料収入			500		
基本財産運用収入			47	47	0
補助金収入			85,588	92,464	△ 6,876
寄付金収入			1	1	0
雑収入			50	50	0
事業活動収入計			1,130,546	1,136,922	△ 6,376
特定資産取崩収入			4	4	0
投資活動収入計			4	4	0
借入金収入			76,001	65,001	11,000
財務活動収入			76,001	65,001	11,000
収入の部合計			1,206,551	1,201,927	4,624

支出の部	科	目	予算額	前年度予算額	増減
事業費支出			998,257	993,345	4,912
管理費支出			119,073	123,601	△ 4,528
事業活動支出計			1,117,330	1,116,946	384
特定資産取得支出			12,720	19,480	△ 6,760
投資活動支出計			12,720	19,480	△ 6,760
借入金返済支出			76,001	65,001	11,000
財務活動支出計			76,001	65,001	11,000
予備費			500	500	0
支出の部計			1,206,551	1,201,927	4,624
当期収支差額			0	0	0
前期繰越収支差額			200	0	200
次期収支差額			200	0	200

し、必要な経費は適正な範囲内で増額をし、また、削減できる経費は極力抑制をすることとし、予算にメリハリを付けると共に、自主財源の確保に努めるなど引き続き効率的で効果的な財団運営を確保する事を目指した予算編成を行いました。

なお、収支予算書の主な項目は、左表のとおりです。



平成21年度
川崎市シルバー人材センター
会員表彰式

マ上から 横山所長、吉井次長、浅香会員、千装会員、栗山所長、長本会員、市川総務課長、吉田会員、荻澤所長
左下から 細田会員、谷口会員、田島理事長、仲川事務局長、溝呂木会員、土子会員

平成21年度 会員表彰式

1月21日(木)、当センターの会議室で平成21年度の会員表彰式を開催しました。

長年にわたり会員の模範となる活動をした方々へ、理事長から表彰状を授与し、記念品を贈呈しました。その後、懇親会を行い、受賞された会員の皆さんから、受賞の感想や入会当時の思い出話などで盛り上がり、終始和やかな雰囲気の中で表彰式は終了しました。

受賞者の皆さん、おめでとうございます。

30周年記念誌に 投稿してみませんか！

センターは今年度設立30周年を迎えます。30周年記念誌編集実行委員会では会員の皆さんからの投稿記事を募集しています。

募集内容

投稿記事：30周年記念誌に相応しい内容

・ 回想録

・ これからのシルバーに期待すること

・ その他 約400字程度

応募方法

氏名・住所・電話番号を明記してご郵送ください。

応募〆切 平成22年6月30日(水)

送り先 〒210-0026

川崎市川崎区堤根34番地19

(財)川崎市シルバー人材センター内

30周年記念誌編集実行委員会事務局迄
※掲載に当たっては、実行委員会にて選考をいたします。なお、採用者には記念品を贈呈いたします。



たしかめちゃん

平成21年度第2回 安全・適正就業委員会報告

開催日 平成22年2月24日(水)
場所 本部事務所

「平成22年度安全・適正就業対策実施計画」を議題として、委員会が開催され、就業現場の巡回・指導、安全器具・器材の点検と使用、安全就業強化月間の設置、安全就業に関する各種講習会等の従来の対策をさらに進展させることなど審議をし、全員一致で承認されました。

また、今年度に発生した事故分析をするにとともに再発防止に向けた意見交換を行いました。

【新たな対策】

- ① 会員の健康管理対策として、各事務所に血圧計を設置する。
- ② 会報誌に会員の「私の健康法」を掲載する。
- ③ 健康体操教室を実施する。
- ④ 職群班、地域班会議等において、安全就業対策について協議する。
- ⑤ 適正就業対策として、ローテーションによる就業の拡大を図る。



【委員の意見】

- ① 会員は高齢であることの自覚が必要である。
- ② うっかりした転倒による事故が多く、日頃から注意をしていけば防げたかもしれない。
- ③ 転倒、転落による事故は軽いケガで済んでいるが、大ケガにつながる可能性がある。

【研修会】

委員会では、川崎消防署から講師を招き、「応急手当とAEDの基礎知識について」の研修を行いました。

◎AEDは心臓の鼓動を復活させる器具ではなく、心臓の細動を停止させる器具であることなど新しい知識の修得に役立ちました。

安全・適正就業委員会のお知らせ 平成22年度「ヒヤリ・ハツと体験事例」と 「安全標語」を募集します

仕事中や仕事先への途中で、事故に遭いそうになって「ヒヤリ」「ハツ」としたことはありませんか？その時の体験談やどのような対応をしたか。事故を起こさないために、どのようなことに気を付けたらよいかなど、会員の皆さんの体験事例の投稿を募集します。

また、安全就業と事故防止のための「安全標語」も併せて募集します。

【応募方法】

原稿用紙に住所・氏名・電話番号を記入の上、郵送、FAXまたは各事務所に御持参ください。

【締切り】 平成22年5月31日

【宛先】

〒210-0026 川崎区堤根34-19
財川崎市シルバー人材センター 事業企画課

FAX 044-222-8516

●選考の結果、採用された方には記念品を贈呈します。

植木(松の手入れ)講習会

開催日 平成22年2月17日(水)
19日(金)2日間

場所 緑ヶ丘霊園
受講者 22人



植木班班員の技術と安全意識の向上を目的に講習会を実施しました。
各事務所植木班班長の推薦による会員講師6名で、松の剪定方法や枝葉の伸び方の特性、道具・器材の安全な使い方等について実習を行いました。

調理講習会

開催日 平成22年3月11日(木)
場所 てくのかわさき
受講者 21人



元氣な高津をつくる会の皆様に講師に招き、家事援助を行う際の調理の工夫や衛生面の注意等について、講義と実習を行いました。
また、生活習慣病予防等の講義や健康体操を行い、会員自身の健康について、改めて考える機会を持つことができました。

会員編集員による取材

パソコン教室を訪ねて

シルバー人材センター会員6名による、独自事業活動「パソコン教室」を取材し、代表の伊藤さんからお話を伺いました。

この事業は、平成20年6月事業企画課の発案で、会員の中からパソコンスキルを有している会員の募集を行い、スタッフ9名、パソコン16台でスタートしました。同年11月に最初のパソコン講座「年賀状作成」を皮切りに今日まで定時開催を行っております。



「パソコン教室」は、一年を通して週3回（月・火・金曜日）開催しています。また、同時に個別指導コースも併行し受講者の要望に沿った指導を行っています。現在は6名のスタッフが



ローテーションを組んで講座運営をしています。

講座は、初心者向けのパソコン入門。ワード、エクセルについては、初級、中級、応用と受講者のレベルに合わせ無理なくステップアップできるよう配慮しています。

講座では、市販のテキストに加え初心者でも直ぐに使えるよう工夫を加えた手作りのテキストを使用しているため、パソコン操作に不慣れな初心者でも解りやすい講義を行っています。

★今後の展開と課題

○受講対象者の拡大

現状では平日昼間の時間帯に開講日を設定していますが、どうしても対象者が限られてしまっています。就業会員や一般の社会人までを対象にするには、土曜、日曜に開講する事などが必要となることから、スタッフのパワーアップ、会場確保の課題があります。

○講座開設拠点の拡大

現在、南部事務所のみで開講していますが、中部、北部地域でも開設して欲しいとの要望があります。スタッフの増員、機材の供給方法、会場の確保などの課題をクリアできれば他の地域でも開講したいと考えています。

今後、当センターにおける独自事業のバイオニアとして、スタッフと事務局の皆様と事業の拡大に向けて、協議を重ねながら頑張っていきたいと熱く語っていただきました。

筆者がパソコン教室に訪問した時は、ちょうど個別指導の講座でした。受講された方からお話を伺いました。84歳の女性は、ワードの入力方法で解らない所があり、受講されたそうです。昨年の暮れの「年賀状講座」も受講されていて、ご高齢の方が日頃パソコンに取り組んでおられる向上心に感激しました。

もうひとつは、確定申告で医療費控除の資料作成をしているのだけれど、思い通りに行かないので受講されたそうです。個別指導は、知りたい所を重点的に教えてもらえるので短時間で理解できると、お話しされていました。

パソコン講座のスタッフは、各自がスキルアップ計画を持っていて、日進月歩のIT技術を少しでも修得するため、日々勉強されているそうです。真摯に取り組んでおられるスタッフの皆さんの気持ちに着実に反映され、パソコン教室がこれからも発展される事を願って訪問記を終わりたいと思います。

（取材＝会報編集委員・田原 了）

会員活動

「布ぞうり講習会」に参加して

会報編集委員 吉田 修一郎

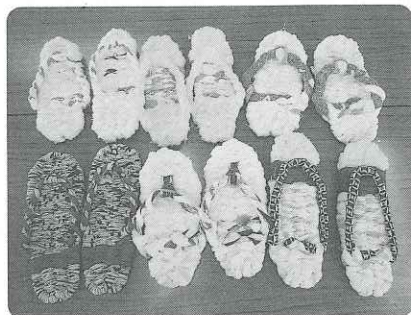
2月18日(木)うらかな早春の1日、期待と不安を抱えてシルバーのイベントでは初めてという企画の会員向け講習会「布ぞうり作り」におそるおそる参加しました。



講師2名、菲澤中部所長、本田職員、男性3名、女性2名の受講者、計9名で和気あいあい、やさしく辛抱強い講師の指導のもと、布ぞうり作りに挑戦しました。

最初は力加減が分からずやたそれにも慣れて

ら細い布ぞうりになりましたが、細く裂いたタオルが次第に形になり、材料からは想像できない鮮やかな模様の布ぞうりができてきたときは目を疑いました。受講者の中にはぞうり作りの経験者もおられ参考にさせていただき、昼食をはさんで午後も作業を



会員投稿

私の健康法

南部会員 関根 清次

んありがとうございました。



続け、布ぞうりが完成したときは達成感で一杯、予定の5時間はあっという間でした。受講者の作品はどれも個性的、参加者の満足な顔が印象的でした。

講習開催にご努力いただいた所長、職員、講師の皆さま

自己紹介から入ります。50年近く自営で電気工事などの仕事をして、その後、年金生活に入り、地域に恩返しをしたいと地域活動に力を入れてきました。しかし、



年金頼みの生活では、不安であり、多少不満でもあったので、自力で小遣い位は稼ぎたいと思い、近所の友人と一緒に南部事務所に顔を出したのが入会の始まりです。平成21年2

月でした。

事務所には、優しいような女性職員がいて、パソコンの手を止め、丁寧に應對してくれたのが印象に残っています。入会後に所長さんから、声がでかくて、元気が良く、すぐに名前が覚えられたよと言われ、喜んでいいのかちょっと複雑な気持ちでした。

早速、4月からは川崎駅前の自転車等放置防止監視員の業務を紹介され、放置自転車禁止区域に自転車止めようとする市民に、駐輪場への誘導を親切に行っています。また、親睦会「宝寿会」の役員として、行事などにも積極的に参加しています。

さて、私の健康法です。体力には自信があり、世話好きで、お人好しを自認する私ですが、町会後の雑談で何か体に良い集まりがあればいいねという話題がでた時に、ここぞとばかり、私が発起人・世話人として活動し、行政などにも相談した結果、発足したのが、「京町いきいきクラブ」です。高齢者だけの集まりでなく、年齢を超えた交流と健康づくりが目的です。会則も整備して、平成19年6月に活動を開始しました。

具体的な内容ですが、「ラジオ体操」や「北国の春」など音楽に合わせたオリジナル体操、また、ストレッチも取り入れた、いわゆる「健康体操」が中心となります。対象者をお子様から、ご年配の方までとしているとおり、誰でも簡単にできる



ものです。また、場所も「京町小学校アリーナ」で学校の施設開放日（土曜日）を利用してもらっています。常時20人程の参加者が心地よい汗を流し、体操後の交流も楽しんでいますが、広いアリーナですので、これをいっぱいにするのが、私の夢でもあります。

健康で、できるだけ長く働きながら人生を楽しむことを誰もが望んでいます。私の健康法が少しでも会員の皆さんのお役にたてばいいと思います。土曜日に心地良い汗を流したい会員の皆さん、健康体操と一緒にやりましょう！連絡は南部事務所とおして関根まで、お待ちしております。

初代会報編集委員

からの言葉

昨年度3月末をもって、初代会員編集委員3名が退任されました。当センターでは初めての試みで、手探りの状態から始めていただきこまで来ましたが、編集委員会も軌道に乗り新委員も加わり、ここで一区切りをとることで、最後に一言ずつ頂くことにいたしました。



編集委員としての活動振り返って

前会員会報編集委員

山本 功

まもなく、任期を終えます。経験のない私にとって、試行錯誤の繰り返しでした。皆様の暖かい

ご支援で何とかここまで続けてこられました。最近では会員の投稿記事も多くなり、読みやすくなって、会員の事業運営への参加意識の推進に少しはお役に立てたかなと、感じております。メンバーの杉本さんと中島さんには永らくお世話になりました。お元気で、またお会いしましょう。



会報編集委員を

「卒業」して...

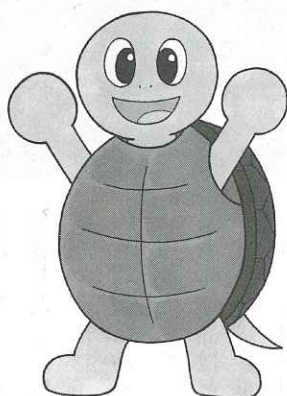
前会員会報編集委員

中島 喜代志

「大丈夫ですか？」45度超えの急坂を登りきったSさん。汗だくで自転車を押し上げている私を振り向いて気遣う。区役所発注・広報掲示板業務の随行ルポ5時間の一シーンです。

私の取材スタンスは「業務」そのもののへの踏み込みと、実体感へのこだわりでした。業務を、どう生き甲斐に昇華されているのだろうか。ルポに固執したのも、それゆえです。

在任4年間。拙文の中で、私の意図したことが、お伝えできたとしたら望外の喜びです。



たしかめちゃん

新しいステージに

期待

前会員会報編集委員

杉本 晃



振り返ってみますと、事務局とメンバーの皆さんに支えられた、抗加齢の四年間でありました。長年親交のある新聞記者から「最近の若い記者は、ホームページから取材し、インタビュの前に原稿を書いている。」と聞き、この手法を実践、効果を検証いたしました。

アーティスト・ミスターチルドレンの撮影現場、生涯現役でご活躍されたメイ牛山さんの会社、パソコンを教えに行ったお客様が主宰の野球チーム、芸術のまちの昭和音楽大学、芸術文化の拠点・川崎市アートセンターなど多方面にわたる取材活動は、知識の吸収と、アンティエイジングに役立ちました。

新しいステージにおける、紙面の刷新と充実を、楽しみにしています。

不況下に、業績の向上を達成されたセンターの、さらなる発展をお祈りいたします。



広告



プロフェッショナルDTP
株式会社 アサヒプリンティング

〔営業部〕

〒212-0003
川崎市幸区戸手本町1-7-1
TEL(044)742-8812

表現することの大切さを
私たちは考えています。

事務所だより

★南部事務所

☎2222-1550

◎家事援助・子育て支援サービス

第二回懇談会

平成22年2月25日(木)

1階多目的会議室 出席者19名

始めに事務所側から、当センターで作成した「作業内容確認票」の紹介、利用料金改定(平成22年4月より適用)についての説明、現在のサービスの受注状況の報告をしました。

この1年シルバー人材センターでの受注件数が滞っている中で、家事援助や子育て支援サービスに対する受注依頼が昨年度より1・5倍にまで増加しています。



最近の依頼について、子育て中の若いご家庭では核家族が多くなり、身内による子育てのサポート体制がなかなか得られないようです。従いまして、シルバーに保育園や学童へのお迎え、お稽古事や塾への送り等の依頼が増えています。

ます。育児支援の仕事は責任重大で神経を使いますが、お子さんの日々の成長に新鮮な驚きがあり、また、親しくなるとなつかれたりして、楽しいと言った意見が聞かれました。

また、一方で介護保険によるサービスに厳しい制限があるため、独居老人や老夫婦暮らしで介護保険外での家事サービスの依頼も急増しています。こういうお宅へお仕事に入ると、家事のお仕事を遂行しながらも、お客様の意向や悩みを伺い、お客様の心の支えにもなっているようです。お金には換算できない仕事の重要性を改めて認識させられました。

◎宝寿会「和やかな新年会」

平成22年1月22日(金)

参加人数18名

宝寿会主催の新年会が「迎賓」において、行われました。

飲み物と香港料理を堪能しながら、自己紹介と雑談で一時を過ごし、和やかなうちに終わることができました。最後に美味しい料理を提供してくれた迎賓のスタッフに感謝を込め、全員でお礼の拍手を送り、散会となりました。

当日参加していただいた皆様、幹事さんお疲れさまでした。

報告者 松澤 康廣



★中部事務所

☎8222-5031

◎統一美化活動参加募集

ボランティアとセンターPRを兼ねて、市主催の市内統一美化活動に参加します。

実施日 平成22年6月6日(日)

場所 多摩川河川敷二子橋付近

参加ご希望の方は、5月28日(金)までに中部事務所(☎8222-5031)へご連絡下さい。

◎除草作業講習会のお知らせ

除草作業をご希望されている方を中心に、次の予定で除草作業の講習会を実施いたします。

日時 平成22年5月14日(金)

午前9時～12時

場所 「子育て支援センターすがお」

川崎市宮前区菅生5丁目

参加ご希望の方は、5月7日(金)までに中部事務所(☎8222-5031)へご連絡下さい。

なお、当講習会受講後に、必ずしも除草作業に就けるわけではありません。

◎安全・適正就業巡回・指導

平成21年度も、1年を通じ、事務所対策員による巡回・指導を、実施いたしました。

会員対策員と職員とが、手分けをして、軽作業、駐輪場管理、

植木・除草作業等20箇所の就業場所を巡回しましたところ、巡回した全ての場所で、安全就業を励





◎安全・適正就業巡回・指導

★北部事務所

☎980-0131

平成22年

3月15日(月)

今回は麻生区にある植木と除草作業の現場二ヶ所を千装委員、山田委員、星野対策員、事務所対策員の4名で巡回し、安全、適正就業の確認を実施しました。
植木現場ではヘルメットの着用、

行しておりました。
(写真)
しかしながら、当中部事務所では、平成21年度中に、傷害事故や賠償事故が多く発生しております。会員皆様方におかれましては、就業中また、就業途上に事故のないよう安全に十分配慮していただくよう、ご協力の程お願いいたします。



◎北寿会「新年会」

平成22年1月30日(土)

参加者31名

北寿会新年会を新百合ヶ丘「夢庵」で開催いたしました。

多くの会員に参加いただき、皆様の元気なお顔・美味しい料理を堪能し親睦を深める事ができ、幹事としても感無量でした。今年も健康にご自愛して頑張ってください。

幹事一同

◎就業してみませんか。

・地域サポート事業

家庭内のガラス・網戸拭き、棚の組み立て、家具の移動、換気扇の掃除など、短期的(1~2時間)、突発的な仕事ではありますが、需要があった際に迅速に対応するため、自動車、バイク等での移動手段をお持ちの方で対応出来る方を募集します。



たしかめちゃん

配分金支払日のお知らせ

4月分から6月分の配分金支払日は次のとおりとなっております。

4月分	5月25日(火)
5月分	6月25日(金)
6月分	7月26日(月)

※配分金は月末で締めて翌月25日(金融機関が休日の場合は翌営業日)に指定された口座へ支払います。

シルバーひとくちメモ

仕事の紹介の連絡を

受けたときは

昨今の不景気風が吹く中で、会員は増加傾向にありますが、発注者からの仕事の申し込みは減少傾向にあります。

会員の皆様には、事務所から仕事の紹介の連絡を受けたときは、希望する仕事かどうか、よく吟味したうえで、チャレンジしてみようと意欲と情熱をもつてのぞんでいただきたいと思います。